



人間体験を支えるデジタル技術 — 持続可能で包摂的な都市・地域社会に向けて —

総合理工学部 助教 Nguyen-Tran Yen-Khang

Khang 研究室は、デジタル技術と建築・都市デザインを融合し、持続可能で誰もが快適に利用できる空間づくりを目指している。地域の気候や文化的背景を尊重しながら、住環境や公共空間の質を向上させることで、持続可能なまちづくりや地域社会の活性化に貢献している。

研究活動では、実空間とデジタル空間の双方を活用し、人々が空間をどのように認識し、評価するのかを探究している。近年は、AIや自然言語処理を用いて若年世代の都市空間に対する評価や表現を分析し、日本語と英語による空間認識の共通点や多様性の理解に取り組んでいる。これらの成果は、より包摂的で利用者視点に立った空間デザインの実現につながることで期待される。

教育活動では、VRやデジタルツールを活用したワークショップを通じて、子どもたちが建築や空間について主体的に学ぶ機会を提供している。また、家具や小規模建築物の設計・制作活動を通じて、学生が設計から製作までのプロセスを実践的に学び、ものづくりへの理解を深めている。これらの研究・教育活動を通じて、持続可能な都市と地域社会の実現、人材育成、そして国際的な知識共有に貢献している。

